

M-6-1-10

資料名 滿洲國 皇帝陛下奉迎報告書

出所 日滿實業協會

作成年 19350505

寄贈者 編者

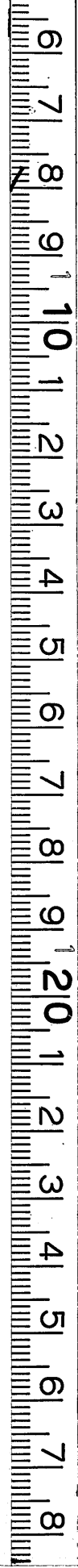
受入

注記 11P 22×15cm

昭和十年四月

滿洲國 皇帝陛下奉迎報告書

日滿實業協會



寄贈

日滿實業協會

年 月 日

奉 迎 辭

奉 迎 辭

滿洲帝國皇帝陛下櫻花爛漫、我國  
都二親シ之風聲ヲ枉クカセ給フ普天、下  
車上ノ演欣喜先聲セサルハナシ  
伏シテ惟ルニ

陛下聖徳天、如ク皇化中外ニ洽ク國礎  
益ニ鞏固ニシテ五族ノ徳光ヲ遠播古、  
治ニ感字順頌セサルハナシ

此秋ニ方リ

陛下ノ鳳駕ヲ拝シ奉ル兩國ノ親善益  
厚キヲ加ヘ東亞ノ和平亦將ニ永遠ナ  
シトス故ニ日滿實業協會ハ實祚ノ無疆  
ト滿洲帝國ノ隆昌トヲ祈リ併セテ國民  
歡喜ノ至情ヲ披瀝シ奉迎ノ微衷ヲ表シ

謹テ目錄ノ献上品ヲ奉ル

昭和十年四月十日

日滿實業協會

會長並四位勲二等男齋藤 誠之助

寄附  
 日滿實業協會  
 年

奉 迎 辭

滿洲帝國皇帝陛下櫻花爛漫，我國  
 都二親之屬聲ヲ枉ケテ給フ普天ノ下  
 率上ノ濱欣喜雀躍セサルハナシ  
 伏シテ惟ルニ

陛下聖徳天ノ如ク皇化中外ニ洽ク國礎  
 益ニ鞏固ニシテ五族ノ僥兆王道復古，  
 治ニ感字順賴セサルハナシ

此秋ニ方リ

陛下ノ鳳駕ヲ拝シ奉ル兩國ノ親善益  
 厚キヲ加ヘ東亞ノ和平亦將ニ永遠ナラ  
 シト又茲ニ日滿實業協會ハ寶祚ノ無疆  
 卜滿洲帝國ノ隆昌トヲ祈リ併セテ國民  
 歡喜ノ至情ヲ披瀝シ奉迎ノ微衷ヲ表シ  
 謹テ目錄ノ獻上品ヲ奉ル

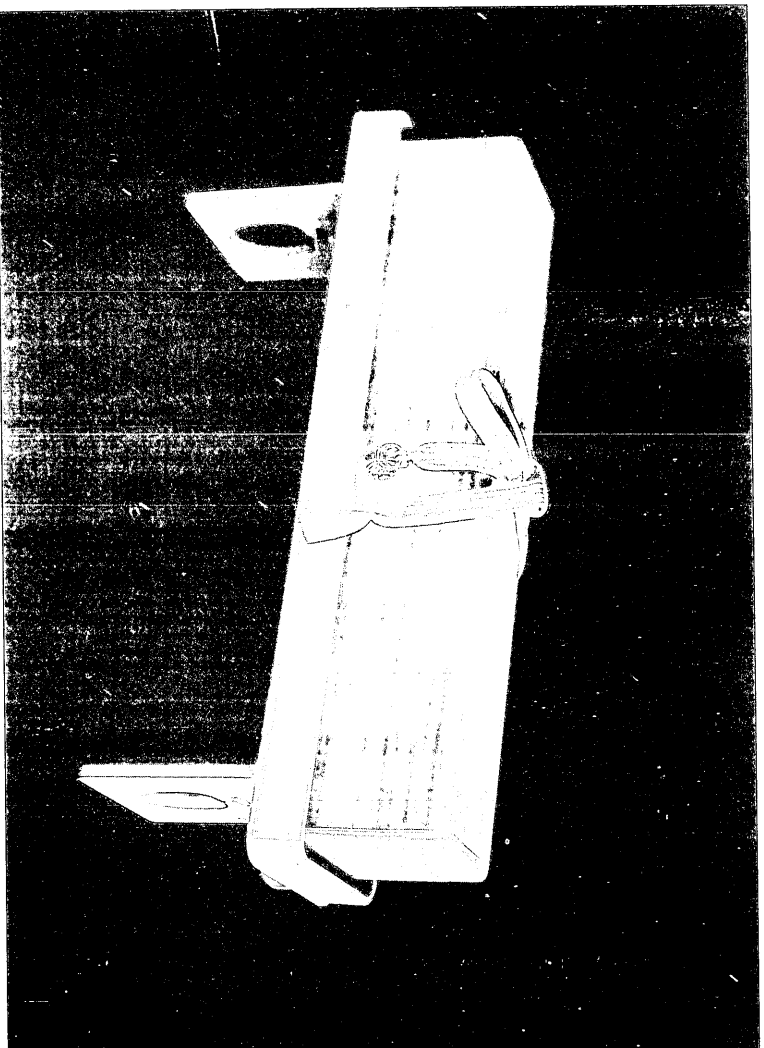
昭和十年四月十日

日滿實業協會

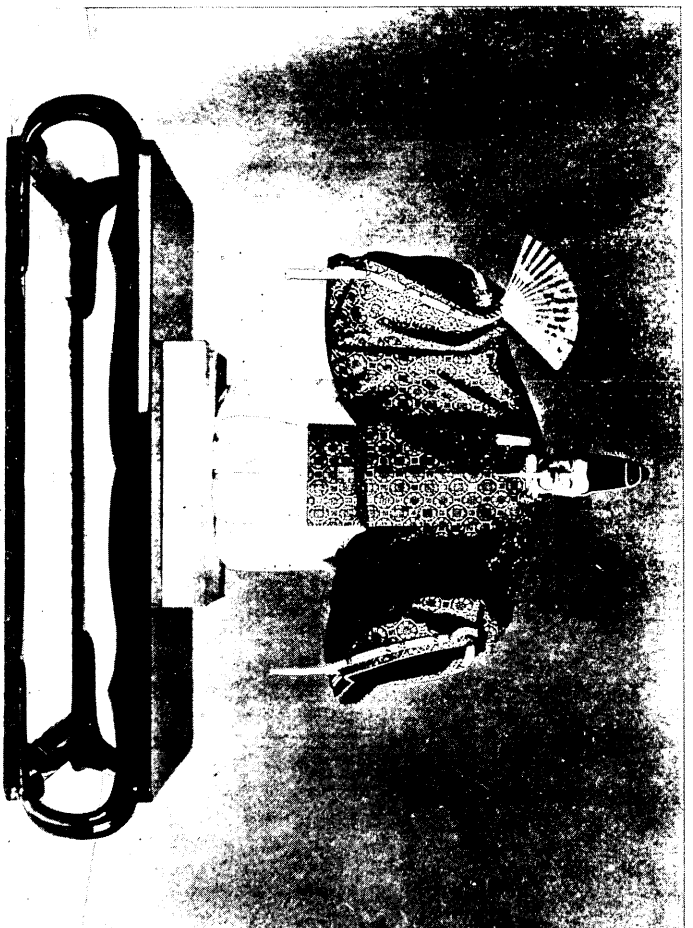
會長五位勲二等男齋藤誠之助

奉 迎 辭

箱 入 辭 迎 奉



姿翁樂能上獻



高 三  
橫 尺一  
縱 寸二  
分 五

高 尺一  
幅 三  
寸

## 滿洲國 皇帝陛下奉迎報告書

滿洲國 皇帝陛下今次我 皇室御訪問の御儀は、眞に東洋史上空前の盛事にして、同時に又日滿兩國民の絶大なる慶福たり。謹んで惟ふに

皇帝陛下には建國以來多難なる國務を總攬あらせられ能く國基を築かせ給ひその後順天安民の大道に則つて皇位に即かせ給ひ、爾來一年有餘、英邁の天資を以て難局に處し、仁慈以て民を憐み、勇武以て境を靖んじ給ひ、その結果嘗ては東洋平和の癘とも稱せられたる滿洲の地は、今や王道樂土の平和境と化し、三千萬民生はこゝに初めて文化の黎明に浴するに至れり。

我國と滿洲帝國との親善關係は、建國の當初より牢固不拔、一體不二何物をも之れを動かす能はず  
畏くも

天皇陛下におかせられては昨年六月

秩父宮殿下を御名代宮として滿洲國に御差遣遊ばせられ又  
滿洲國 皇帝陛下におかせられては、御即位の勅語に「有ユル守  
國ノ遠圖、經邦ノ長策ハ常ニ日本帝國ト協力同心以テ永固ヲ期  
スベシ」と仰せられたるは、如何に

兩國 皇帝陛下が日滿兩國の親善同榮に深き御心を勞し給ふ  
かを拜察して、唯々感激措く能はざる所なり。

皇帝陛下には曩に御訪日の御儀決定あらせらるゝや、我國との

親睦協力を専念せられ、南關東軍司令官の奉送午餐會に御臨場、  
あらせられ、貴我兩國間の關係親密なるを以て、常に信使の往來  
ありと雖も、猶未だその意を盡さざるものあるを惧れたるに、今  
般幸に訪問の機を得親しく赤誠を

貴國 天皇陛下の前に效すことをうるは、兩國の親睦と東洋平  
和の上に必ず莫大の效益あるべきを信じ、朕の心深く愉快とす  
るところなりとの御沙汰を賜りたるやに拜聞す。

皇帝陛下が我 皇室の賓客とならせられ盟邦百般の文物を御  
見聞遊ばされ、日本國民の渝らざる眞情を酌みとらせ給ふこと  
は、兩帝國 皇室無窮の御繁榮と、兩國民永遠の親交とを益々深  
からしめ、延いて東洋平和確立の基礎を築かせ給ふものと拜察



し奉る。

時恰も陽春四月

皇帝陛下には去る二日、新京御出發、同日大連より軍艦比叡に御乘艦、海上御恙かもあらせられず六日朝横濱御上陸、同日午前十一時三十分東京驛御着、帝都御訪問の第一歩を印せられ、畏くも天皇陛下には御出迎の爲め特に驛頭に成らせ給ひ、こゝに兩國 皇帝陛下には初めて御對顔御懇篤なる御挨拶を交えさせられたるやに拜聞す。

今や櫻花爛漫、春風駘蕩の交に方り

皇帝陛下を迎へ奉り、日本國民は眞に欣喜雀躍措く所を知らず、日夜赤誠を以て御歡迎申上げ日も是れ足らざる有様なりき。

我日滿實業協會は去る二月十三日及び三月十三日に於ける兩度の理事會にて慎重審議の結果滿場一致別記目錄の獻上品を奉呈することに決定三月二十日東京府經由左記獻上願を提出せり。

獻 上 願

牧俊高作

一、梅若萬三郎能姿

壹 組

能樂木彫翁置物

右

滿洲國 皇帝陛下ニ獻上致度候條御採納相成候様可然御執

成被下度此段相願候也

昭和十年三月二十日

東京市麴町區丸ノ内三丁目十四番地

日滿實業協會會長

正四位勳二等男爵 郷 誠之助印

滿洲國 皇帝陛下接伴員殿

說 明 書

翁

能樂中莊重ナル仕舞ノ一ナリ君萬歲ヲ壽キ奉ル芽出度キモ  
ノニシテ近來ノ名手梅若流梅若萬三郎氏ノ能姿ヲ形取り謹

製セルモノナリ

然るに四月八日東京府知事より献上願御採納の趣きにて左の  
通知に接したり

亥人第一九三號

昭和十年四月八日

東京府知事 横山 助成印

日滿實業協會會長

正四位勳二等男爵 郷 誠之助殿

献上品ニ關スル件

一、能樂木彫翁置物 壹組

右

滿洲國 皇帝陛下へ献上願出ノ處今般御採納可相成旨通知  
有之候條現品左記へ御搬入相成度

記

搬入ノ日時 四月十日自午前十一時至正午

搬入ノ場所 赤坂離宮東門(紀伊國坂上)

依て四月十日午前十一時、郷會長事故の爲め副會長結城豐太郎、  
常任幹事篠崎嘉郎は赤坂離宮に參候し左の奉迎辭と共に目錄  
の品を献上せり

### 奉 迎 辭

滿洲國 皇帝陛下櫻花爛漫ノ我國都ニ親シク鳳輦ヲ拄ケサセ  
給フ普天ノ下率土ノ濱欣喜雀躍セサルハナシ  
伏シテ惟ルニ

陛下聖徳天ノ如ク皇化中外ニ洽ク國礎益々鞏固ニシテ五族ノ  
億兆王道復古ノ治ニ感孚順賴セサルハナシ  
此秋ニ方リ

陛下ノ鳳駕ヲ拜シ奉ル兩國ノ親善益々厚キヲ加ヘ東亞ノ和平  
亦將ニ永遠ナラントス茲ニ日滿實業協會ハ寶祚ノ無疆ト滿洲  
帝國ノ隆昌トヲ祈リ併セテ國民歡喜ノ至情ヲ披瀝シ奉迎ノ微

衷ヲ表シ謹テ目錄ノ獻上品ヲ奉ル

昭和十年四月十日

一〇

日滿實業協會會長

正四位勳二等男爵 郷

誠之助

目 錄

一、梅若萬三郎能姿 壹 組

能樂木彫翁

牧 俊高作

右及報告候也

昭和十年四月

日滿實業協會

會 員 殿

昭和十年四月三十日印刷納本  
昭和十年五月五日發行  
(非賣品)

編輯兼發行人 篠崎嘉三郎

印刷人 島連太郎

印刷所 三秀舎

東京市神田區美土代町十六番地

東京市麩町區丸ノ内三丁目十四番地

發行所 日滿實業協會

電話丸ノ内(28)五〇六一番

振替貯金口座東京四五八〇二番

